

第四次名張市子ども読書活動推進計画
令和7年度施策進捗状況調書

令和8年1月

名 張 市

名張市教育委員会

目 次

1. 指針1：家庭、保育所（園）・認定こども園及び幼稚園等における読書活動の推進 1
2. 指針2：小・中学校における読書活動の推進 6
3. 指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進 11

第四次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調書

指針1: 家庭、保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等における読書活動の推進

令和8年1月作成

1 絵本の充実と整備

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
ア 絵本等の整備費の確保を図り、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本と子どもが魅力ある本を手にとって見ることができる環境を充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本貸出: 7施設(昨年度同数) ・廃棄した絵本と同じ絵本や子どもが興味を持っている絵本を購入しました。13施設566冊(昨年度比9施設・537冊増) ・玄関先等の絵本コーナーにソファを置き親子でゆっくりと見られるようにするなど環境の充実に努めました。 ・物語・自然など項目別や色別にしたり、絵本の表紙が見えるように並べたり、行事など興味のある本がすぐ手に取れるようにしました。また、おすすめ絵本を見やすい位置に配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本貸出: 8施設(昨年度比1施設増) ・廃棄した絵本と同じ絵本や子どもが興味を持っている絵本を購入しました。14施設746冊(昨年度比1施設・180冊増) ・毎日読み聞かせの時間を持ち、子どもと1対1で絵本をみる機会を作っている。 ・物語・自然など項目別や色別にしたり、絵本の表紙が見えるように並べたり、行事など興味のある本がすぐ手に取れるようにしました。また、おすすめ絵本を見やすい位置に配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き絵本の購入や絵本コーナーの整備等、絵本に親しめる環境整備を進めます。 ・人気の絵本は消耗しやすいので、修理や再購入するなど、繰り返し好きな絵本に親しめるようにします。 ・季節や行事に合った絵本や幅広いジャンルの絵本を整え、子どもがいつでも絵本に触れることができるようにします。
イ 子どもと本の出合いをより充実させるために、保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等は、図書館訪問や移動図書館、団体貸出の活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館訪問: 7施設(昨年度比5施設増) ・移動図書館: 7施設(昨年度比1施設減) ・団体貸出: 11施設(昨年度比5施設増) ・図書館訪問や移動図書館、団体貸出などのサービスを利用しながら、季節に合った絵本や幅広いジャンルの絵本・大型絵本を整えることで絵本環境の充実に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館訪問9施設(昨年度比2施設増) ・移動図書館: 7施設(昨年度比同数) ・団体貸出: 8施設(昨年度比3施設減) ・図書館訪問や移動図書館、団体貸出などのサービスを利用しながら、季節に合った絵本や幅広いジャンルの絵本・大型絵本を整えることで絵本環境の充実に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館訪問や移動図書館、団体貸出を活用し、絵本環境の充実に努めます。
進捗状況			
/		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の読み聞かせを毎日行い、子どもが絵本に興味を持つきっかけや環境づくりに努めています。 ・図書館訪問や移動図書館については施設の状況により難しいですが、季節や興味に応じた絵本の充実を行っています。 	
課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や発達、季節や行事に応じた絵本環境の充実に努めます。 ・図書館訪問や移動図書館、団体貸出を活用し、幅広いジャンルの絵本を整え子どもがいつでも絵本に触れることができる環境の充実に努めます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館訪問や移動図書館、団体貸出等を活用し、幅広いジャンルの絵本を整えたり、年齢や発達、季節や行事に応じた絵本の充実を図ったりし、子どもが絵本に触れ楽しめる環境の充実に努めます。 	

2 読書活動推進のための取組

施策・方針	実績		重点取組事業 令和7年度以降(案)
	令和5年度	令和6年度	
ア 保育士や保育教諭、幼稚園教諭を対象に、子どもの年齢、成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修を充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の実施:5施設(昨年度比5施設増) ・研修会への参加:実施施設なし(前年度比4施設減) <p>絵本についての理解や、絵本を通して育てたいことを話し合いました。 豊かな言葉や表現の基礎となるように、多くの園で絵本の読み聞かせの時間を毎日継続し、保育カリキュラムに絵本や言葉についての内容を位置付け検討を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の実施8施設(昨年度比3施設増) ・研修会への参加:実施施設6施設(前年度比6施設増) <p>絵本についての理解や、絵本を通して育てたいことを話し合いました。 豊かな言葉や表現の基礎となるように、多くの園で絵本の読み聞かせの時間を毎日継続し、保育カリキュラムに絵本や言葉についての内容を位置付け検討を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが良い絵本と出合うために、職員の選書能力や読み聞かせ技術を高め、保育の中で読書習慣の定着を図ります。 ・引き続き、保育カリキュラムに絵本や言葉についての内容を位置付けていきます。 ・絵本やわらべうたなど発達や年齢に適した内容や手法等を学ぶ研修会を実施します。
イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続するとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催する等、家庭、保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等へ積極的に支援します。	<p><ブックスタート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援センターかがやき:月1~3回117世帯(昨年度比3世帯増) ・マイ保育ステーション「おひさま」:月1回18世帯(昨年度比6世帯減) ・保護者研修:絵本の内容の人形劇を親子で鑑賞し、お話や絵本を通してコミュニケーションが図れるよう、実施。「ゴリラのパン屋さん」「うさぎのおうち」 ・親子と子育て支援者を対象に絵本の読み聞かせ講座を実施 令和5年11月29日参加者:46名(昨年度中止) ・なかよし広場での読み聞かせ:11施設(昨年度比2施設増) クラス懇談会での紹介:7施設(昨年度同数) ・園だよりやクラスだより、ドキュメンテーションで絵本の紹介や絵本の大切さを伝えました。 ・テラスや玄関におすすめ絵本を展示し、手に取ってみてもらえるようにしました。 	<p><ブックスタート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援センターかがやき:月1~3回85世帯(昨年度比32世帯減) ・マイ保育ステーション「おひさま」:月1回21世帯(昨年度比4世帯増) ・保護者研修:熱中症に関する絵本を各施設に寄贈。 ・親子と子育て支援者を対象に絵本の読み聞かせ講座を実施 令和6年11月27日参加者:45名(昨年1名減) ・なかよし広場での読み聞かせ:11施設(昨年度比同数) クラス懇談会や保育参加での紹介:8施設(昨年度同数) ・園だよりやクラスだより、ドキュメンテーションで絵本の紹介や絵本の大切さを伝えました。 ・テラスや玄関におすすめ絵本を展示し、手に取ってみてもらえるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きこども支援センターかがやきとマイ保育ステーション「おひさま」で、ブックスタートを実施します。 ・なかよし広場など未就園の親子対象にわらべ歌や読み聞かせの時間を確保し、絵本との出会いのきっかけを作ります。 ・保護者への啓発に努めます。

<p>ウ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーションでは、乳幼児期からわらべ歌や読み聞かせ等に親しむ時間を十分確保し、子どもが絵本に出合うきっかけづくりを充実させます。</p>	<p>・こども支援センターかがやきや、マイ保育ステーションなどでは、乗り物、動物など乳児向けの絵本を充実しました。パネルシアターや仕掛けシアターなどの視覚教材を作りお話に親しめるようにしました。</p> <p><こども支援センターかがやき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士による絵本の読み聞かせ <p>毎週1回 参加者:親子229組 (大人229名 子ども246名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた遊び 毎週1回 参加者:親子332組(大人332名 子ども336名) <p><マイ保育ステーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を楽しむ会『おひさま』毎月1回実施 参加者:親子38組 (大人38名 子ども45名) 『かざみどり』毎月1~3回実施 参加者:親子53組 (大人53名 子ども73名) 『なないろ』毎月1回程度実施 参加者:親子59組 (大人61名 子ども64名) ・触れ合いあそび・わらべうた『おひさま』毎月1回実施 参加者:親子31組 (大人35名 子ども35名) 『かざみどり』年3回程度実施 参加者:親子11組 (大人11名 子ども14名) 『なないろ』毎月1回程度実施 お楽しみ会として絵本の読み聞かせと同日に実施 参加者:親子53組 (大人53名 子ども73名) 	<p>・こども支援センターかがやきや、マイ保育ステーションなどでは、乗り物、動物など乳児向けの絵本を充実しました。パネルシアターや仕掛けシアターなどの視覚教材を作りお話に親しめるようにしました。</p> <p><こども支援センターかがやき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士による絵本の読み聞かせ <p>毎週1回 参加者:親子270組 (大人258名 子ども283名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた遊び 毎週1回 参加者:親子388組(大人369名 子ども408名) <p><マイ保育ステーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を楽しむ会『おひさま』毎月1回実施 参加者:親子54組 (大人54名 子ども57名) 『かざみどり』毎月1~3回実施 参加者:親子15組 (大人15名 子ども16名) 『なないろ』毎月1回程度実施 参加者:親子105組 (大人105名 子ども111名) ・触れ合いあそび・わらべうた『おひさま』毎月1回実施 参加者:親子61組 (大人62名 子ども65名) 『かざみどり』年3回程度実施 参加者:親子9組 (大人9名 子ども12名) 『なないろ』毎月1回程度実施 お楽しみ会として実施 参加者:親子34組 (大人34名 子ども36名) 	<p>・未就園の親子対象にわらべ歌や読み聞かせの時間を確保し、絵本との出合いのきっかけづくりに努めます。</p>
<p>エ こども支援センターかがやきやマイ保育ステーション、保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等でそれぞれの課題を整理しつつ、読み聞かせや読書環境の整備等、ボランティアの効果的な活用を推進します。</p>	<p><こども支援センターかがやき>・ボランティアによる読み聞かせを月1回実施 参加者:親子71組(大人71名 子ども76名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの読み聞かせの活用:7施設 ・ボランティアの読み聞かせを活用したいと考えている、または身近にいない:7施設 ・担任以外や園全体や乳児幼児に分けて絵本の読み聞かせ会を実施している。 	<p><こども支援センターかがやき>・ボランティアによる読み聞かせを月1回実施 参加者:親子112組(大人109名 子ども116名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの読み聞かせの活用:12施設(昨年度比5施設増) ・ボランティアの読み聞かせを活用したいと考えている:5施設 ・担任以外や園全体や乳児幼児に分けて絵本の読み聞かせ会を実施している。 	<p>・ボランティアの協力を得ながら子どもの絵本への興味関心を高めていきます。</p>

<p>オ 「子ども読書の日」の更なる周知を図り、保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等において、子どもが絵本に親しめる環境整備に取り組みます。</p>	<p>・「子ども読書の日」のポスター掲示やに関連した取組や読み聞かせを実施すると共に、取組の様子をドキュメンテーションで知らせたり、おたより等でおすすめ絵本の内容紹介など年間を通して保護者に乳児期からの読書の大切さを伝えました。 ・日常的に絵本に触れる機会を設け、保育の中では毎日読み聞かせを実施しました。 ・ストーリー性のある絵本を表現活動やごっこ遊びにつなげ、イメージの広がりや感性の高まりにつなげました。 ・乳児は保育者の膝に座って1対1でゆったりと絵本をみる時間やわらべ歌遊びを楽しめるようにしました。 ・子どものワクワク・ドキドキにした気持ちを大切に、年齢に応じたかかわりや環境を整えました。</p>	<p>・「子ども読書の日」のポスター掲示や関連した取組や読み聞かせを実施すると共に、園だよりやクラスだより、掲示でおすすめ絵本の内容紹介など年間を通して保護者に乳児期からの読書の大切さを伝えました。 ・日常的に絵本に触れる機会を設け、保育の中では毎日読み聞かせを実施しています。 ・ストーリー性のある絵本を表現活動やごっこ遊びにつなげ、イメージの広がりや感性の高まりにつなげていました。 ・乳児は保育者の膝に座って1対1でゆったりと絵本をみる時間やわらべ歌遊びを楽しめるようにしていました。 ・子どものワクワク・ドキドキにした気持ちを大切に、年齢に応じたかかわりや環境を整えるようにしていました。</p>	<p>・「子ども読書の日」に関連した取組や読み聞かせ、絵本紹介など年間を通して保護者に乳児期からの読書の大切さを引き続き伝えていきます。</p>
進捗状況			
/	/	<p>「子ども読書の日」や、参観・懇談、おたより等を通して保護者に向けた絵本等の啓発を定期的に行っています。また、園児や未就園の親子に対しても、保育士やボランティアを活用し、絵本に触れる機会や楽しさを伝えています。</p>	/
		課題	
/	<p>・保育の中では毎日の読み聞かせを実施するなど絵本の大切さを意識していますが、「子ども読書の日」に関連した取組や保育の中で、さらに読書習慣の定着を図ります。 ・本に触れ、読むことやわらべ歌遊びを取り入れていくことでコミュニケーション能力や学力につながることから、引き続き保育カリキュラムの中に位置づけ、低年齢から絵本に親しむ大切さを伝えていきます。 ・親子で絵本に触れる機会やわらべうた等を取り入れながら親子が向き合う時間や保護者に絵本の楽しさを伝えていきます。</p>	<p>・保育の中では毎日の読み聞かせを実施するなど絵本の大切さを意識しています。「子ども読書の日」に関連した取組については、各施設の取組を交流するなどし、保育の中で、さらに読書習慣の定着を図ります。 ・本に触れ、読むことやわらべ歌遊びを取り入れていくことでコミュニケーション能力や学力につながることから、引き続き保育カリキュラムの中に位置づけ、低年齢から絵本に親しむ大切さを伝えていきます。 ・親子で絵本に触れる機会やわらべうた等を取り入れながら親子が向き合う時間や保護者に絵本の楽しさを伝えていきます。</p>	/

【数値目標】

成果指標	目標値 (令和9年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
「子ども読書の日」に向けた取組を実施している施設の取組率	17施設	10施設	12施設	
なかよし広場での読み聞かせ	17施設	11施設	13施設	

※数値は令和7年3月末現在

第四次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査書

指針2:小中学校における読書活動の推進

令和8年1月作成

1 学校図書館の資料の充実

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
ア 各学校の実情に応じた図書館資料の整備を、蔵書比率を考慮しながら推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、書籍選定の際に学校司書が情報提供を行っています。分類ごとの蔵書比率に鑑み、蔵書の購入を進めました。また「ばりっ子BOOKGIFT」として、合計156冊の寄贈を受け、各校に配付しました。 ・子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができるよう「図書館オリエンテーション」や「ブックトーク」、「おすすめ本の紹介コーナー」等の取組を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、書籍選定の際に学校司書が情報提供を行っています。分類ごとの蔵書比率に鑑み、蔵書の購入を進めました。 ・本年度も「ばりっ子BOOKGIFT」の取組を全庁に周知し、協力を呼び掛けました。 ・子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができるよう、「おすすめ本の紹介」や「リクエスト制度」等の取組を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の蔵書比率をデータ処理し、蔵書比率の適正化に向け、今後も書籍選定の際に学校司書が学校へ情報提供を行います。 ・子どもが読書への興味関心を高め、読書の幅を広げることができるよう、各校の好事例を図書館教育担当者会等で交流し、工夫した取組を実施するとともに、図書館資料の整備を進めます。
イ ふるさと学習「なばり学」を促進するため、名張の地域教材等、多種多様な形態の資料の収集を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の推進のため、継続的に郷土資料の充実を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の推進のため、継続的に郷土資料の充実を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の推進のため、継続的に郷土資料のさらなる充実を図ります。
ウ 市立図書館等と協働し、団体貸出等を利用しながら、子どもや学校のニーズに応える図書の整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館等と連携・協力を図りながら、学校図書館の資料の充実を図りました。団体貸し出しは、市内14小学校のうち12校の利用となりました(昨年度比3校増)。 ・名張市立図書館所蔵の貸し出さなくなった書籍のうち、傷みが少なく再利用が可能なものを「リサイクル本」として希望する学校へ配付をしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館等と連携・協力を図りながら、学校図書館の資料の充実を図りました。 ・図書館教育担当者会等で、やまなみ号の学校巡回や団体貸出等(やまなみ号の巡回:7校、団体貸出の利用:10校)の市立図書館が実施している学校への支援内容を周知しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館等と連携、協力を図りながら、学校図書館の蔵書の充実を図ります。 ・図書館教育担当者会等で、市立図書館が実施している学校への支援内容をきめ細かく周知するとともに、学校での調べ学習や読書活動がしやすいように市立図書館との連携を一層図ります。
進捗状況			
/		<ul style="list-style-type: none"> 「ばりっ子BOOKGIFT」の取組を行い、市役所全庁に本の寄付を募ったり、市立図書館の団体貸出を活用したりして、児童生徒の学習を支援するため、資料の充実を図りました。 	

課題	
<p>・学校図書館のさらなる充実とともに、市立図書館との連携を一層進める必要があります。そのためにも、市立図書館が実施している学校への支援内容やジュニア司書などの取組をきめ細かく周知するとともに、学校での調べ学習や読書活動がしやすいように、蔵書の充実を図ります。</p>	<p>読書活動推進にむけ、学校図書館を整備、充実させる必要があります。また、市立図書館と密に連携を取り、市立図書館の取組を広く周知するとともに、学校図書館や読書活動に興味をもたせるためにも、蔵書の充実を図ります。</p>

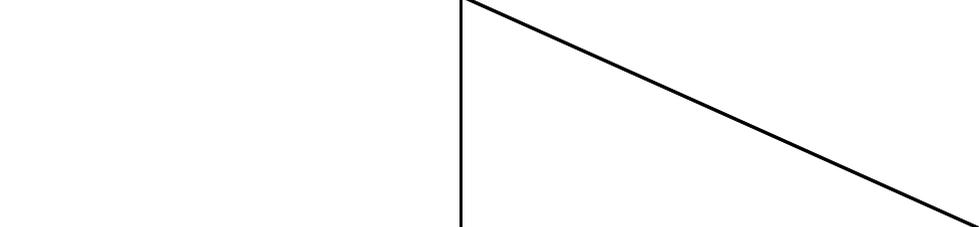
2 人的体制の整備

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
<p>ア 学校司書を引き続き配置し、更に増員することや学校への巡回回数を増やすことで、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進を支援します。</p>	<p>学校司書が市内19校の小中学校を巡回し、図書館教育担当者と連携し、学校図書館の整備や授業支援等の子どもの読書活動推進の支援を行いました。 ・学校司書は子どもたちが活動する委員会活動の助言や支援を行いました。また、図書館の利用の仕方等のオリエンテーションを行いました。</p>	<p>市内全ての小中学校を、4人の学校司書が巡回し、図書館教育担当者と連携しながら、学校図書館の整備や授業支援等読書活動推進の支援を行いました。 ・学校司書は委員会活動の助言や、図書館利用の仕方等のオリエンテーションを行い、子どもたちが読書活動を行うための支援を行いました。</p>	<p>・引き続き学校司書と図書館教育担当者をはじめとする教職員が学校司書と連携を密にし、子どもの読書活動を推進することで、学校図書館の利用増加を目指します。 ・ボランティアの手引きや学校図書館の手引きを共有することで学校図書館の整備を円滑に行い、子どもたちの図書館利用を促します。</p>
<p>イ 教育センターが各学校の司書教諭等と情報を共有し、協働しながら学校図書館の充実に向けた支援体制を確立します。</p>	<p>・図書館教育担当者会において、教育センターと各学校の司書教諭をはじめとする図書館教育担当者が情報を共有しました。 ・学校図書館活用アドバイザーが各学校を巡回し、図書館教育担当者と面談をし、各学校の取組を把握し、学校図書館教育の活性化に向けて、支援を行いました。</p>	<p>・図書館教育担当者会を年間3回実施し、司書教諭をはじめとする各学校の図書館教育担当者と教育センターが情報共有を行いました。 ・学校図書館活用アドバイザーが、各学校を巡回して図書館教育担当者と面談をし、各学校の取組を把握しました。また、学校図書館教育の活性化に向けて、各校の取組等についてアドバイスを行い、各校の図書館教育についての支援を行いました。</p>	<p>・図書館教育担当者会において、令和6年度の取組について交流を行い、各校での図書館利用に活用できるよう取り組みます。 ・各校の読書活動推進のため、学校図書館活用アドバイザー等が各学校を巡回して図書館教育担当者と面談をし、各学校の取組を把握し、学校図書館教育の活性化に向けて、教育センターが支援を行います。</p>
<p>ウ 司書教諭等、学校司書及び学校図書館ボランティアの資質能力の向上を目指し、研修の充実を図ります。</p>	<p>・図書館教育担当者や司書教諭、学校司書、学校図書館ボランティアを対象とした研修講座を実施しました。 ・学校図書館ボランティアが情報交換し、ボランティアの幅を広げることができる交流会の場を設定しました。</p>	<p>・9月と10月に、図書館教育担当者や司書教諭、学校司書、学校図書館ボランティアを対象とした研修講座を実施しました。 ・学校図書館ボランティアが、ボランティアの幅を広げることができるよう、情報交換の場を設けました。</p>	<p>・引き続き図書館教育担当者や司書教諭を対象にした研修講座等を開催し、資質向上を図ります。 ・学校図書館ボランティア等を対象とする研修講座を開催し、資質向上を図るとともに、ボランティアの幅を広げることができる場を設定します。</p>

進捗状況		
	<p>学校司書が市内各小中学校を巡回し、学校図書館の整備や授業支援等を行ったり、学校図書館活用アドバイザーが各校を巡回したりして、学校図書館の活性化を図りました。他にも、図書館教育担当者や学校司書、学校図書館ボランティアなどを対象として、子どもたちの読書活動の支援を充実することができるよう、研修を行いました。</p>	
課題		
<p>各校の図書館教育担当者、司書教諭等の人的体制の充実を引き続き図る必要があります。そのためにも、ボランティアの手引きや学校図書館の手引きを担当者で共有することで、各校に均等な支援ができるように取り組んでいくことや、司書教諭をはじめとする学校図書館教育担当者のための研修を実施していく必要があります。</p>	<p>引き続き、各校の図書館教育担当者、司書教諭等の専門性を高めていく必要があります。さらに、図書館教育担当者会にてそれぞれの取組についての情報交換を行うとともに、研修講座を実施し、図書館教育についての新しい情報を得る機会を作ったりしていく必要があります。</p>	

3 読書活動推進のための学校の取組

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
<p>ア 読書活動を各学校の各教科等の指導計画に位置付け、多様な読書活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で学校図書館を活用した授業が計画的に行われるよう、学校図書館の役割を明記した各学年の年間指導計画についてすべての学校で作成しました。 ・学校図書館を活用した活動充実のために、司書教諭等と学校司書が連携を一層進められるよう、打ち合わせ時間の確保に努めました。 ・各学校の取組を図書館教育担当者会等で交流し、各学校で活用できるようにしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を活用した授業が、各学年でより計画的に行われるように、昨年度の成果と課題を踏まえながら、図書館教育の年間指導計画をすべての小中学校で作成しました。 ・この計画に基づいて、並行読書をしたたり、教科横断的な学習をするなかで、他分野の本を読み、選書の幅を広げることで、多様な読書活動を推進しました。 ・学校図書館を活用した活動の充実を目指し、学校司書と司書教諭や学校図書館担当者が連携を一層進められるよう会議や打ち合わせを実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の図書館教育担当者をはじめとする教職員が子どもの読書活動の実態を把握、共有し、各校の図書館教育の年間指導計画に基づいて、読書活動推進の取組を進めていきます。 ・各学校の取組を図書館教育担当者会等で交流し、各学校で活用できるようにします。また、小中一貫教育の取組の一つとして、中学校ブロックごとに子どもの読書活動を推進します。 ・ファミリー読書感想文コンクールを実施し、ペアを組んだ相手と、本を読んだ感想を交流したり、文章に表したりする活動を通して、読書に親しみ、読書活動の推進を図ります。

<p>イ コミュニティ・スクールの取組の一つとして、学校図書館ボランティア等と協力し、読み聞かせや環境整備、図書館資料の整備等に取り組み、学校図書館を地域に開放する等、学校図書館の充実を推進します。</p>	<p>・地域づくり組織等と協力した長期休業中の学校図書館の開放や、地域ボランティアによる読み聞かせや掲示物作成、整理修繕などを進めることにより、地域とともに子どもの読書活動を推進しました。</p>	<p>・地域づくり組織等と協力した地域ボランティアによる読み聞かせや、おすすめ本の紹介等の掲示物作成、長期休業中の学校図書館の開放など、地域とともに子どもの読書活動を推進しました。 「子ども読書活動推進研修講座・図書館ボランティア研修講座」を実施した際、講師からおすすめいただいた本を教育センターで購入してロビーに展示し、貸出できるようにしたことで、読み聞かせボランティアなどが活用できるようにしました。</p>	<p>・学校図書館ボランティアや地域づくり組織等と協力し、学校図書館を地域に開放する等、コミュニティ・スクールの取組の一つとして、子どもの読書活動を推進します。</p>
<p>ウ 家読(うちどく)を保護者等へ周知し、積極的に推進します。</p>	<p>・各学校が「図書館だより」等の発行により、家読(うちどく)を保護者等へ周知し、積極的に読書活動を推進しました。 ・教育センターから、「とよだより」や「ぱりっ子におすすめブックリスト」を発行することで、家読(うちどく)を周知し、家庭における読書習慣を推奨しました。</p>	<p>・各学校が「図書館だより」等の発行により、家読(うちどく)を保護者等へ周知し、家庭での読書活動を推進しました。 ・教育センターで新たな「ぱりっ子におすすめブックリスト」のリーフレットとポスターを発行しました。</p>	<p>・各学校の「図書だより」や教育センターの「ブックリスト」「とよだより」等の発行により、家読(うちどく)を保護者に周知し、家庭における読書活動を推進します。</p>
<p>エ 市立図書館等と協働し、図書館職員による学校訪問等を利用しながら、学校図書館の活性化を推進します。</p>	<p>・市立図書館と教育センターが共催し、ジュニア司書養成講座を実施し、第1期生として24名のジュニア司書を認定しました。「ぱりっ子におすすめブックリスト」の作成に協力するなど、家庭、地域、学校等で家族や友人に読書の楽しさや大切さを伝える読書活動推進リーダーを育成しました。</p>	<p>・市立図書館と教育センターが共催し、第2期のジュニア司書養成講座を実施し、11名のジュニア司書を新たに認定しました。ジュニア司書による「ぱりっ子におすすめブックリスト」の作成や図書館の読み聞かせに協力するなど、家庭、地域、学校等で家族や友人に読書の楽しさや大切さを伝える読書活動推進リーダーを育成しました。</p>	<p>・引き続きジュニア司書の養成を進めます。 ・ジュニア司書が読書活動を推進するリーダーとして活躍する場(市立図書館での読み聞かせ会への参加、おすすめ本の紹介、各在籍校においてビブリオバトルを開催するなど、ほかの児童生徒が本を読みたくなるような啓発活動を行う等)を市立図書館と学校が連携して広げていくことによって、読書や図書館の魅力を友だち、家族、地域の方に伝え、読書文化を高める取り組みを推進します。</p>
進捗状況			
		<p>市立図書館と教育センターの共催で、ジュニア司書養成講座を実施しました。また、ジュニア司書が選書し、「ぱりっ子におすすめブックリスト」を作成しました。作成したブックリストは、市内各小中学校や教育関係機関、市民センター等に配付しました。</p>	

課題		
<p>昨年度に引き続き読書活動の推進を図る必要があり、各校から「がっこうだより」や教育センターから「ブックリスト」「としょだより」等を発行し、家読(うちどく)を周知することや、ジュニア司書等の取り組みを通して読書や図書館の魅力を発信していく必要があります。</p>	<p>家庭における読書習慣の定着を図るため、引き続き、「としょだより」や「ブックリスト」を発行します。また、ジュニア司書養成講座を開催し、読書の楽しさや図書館の魅力を発信していく必要があります。</p>	

【数値目標】

成果指標	目標値 (令和9年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
<p>全国学力・学習状況調査の質問「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか」において、30分以上と回答する児童生徒の割合。(教科書・参考書、漫画雑誌は除く)</p>	<p>【小学生】 40.3% 【中学生】 30.2%</p>	<p>【小学校】 34.3% 【中学校】 21.0%</p>	<p>【小学校】31.5% 【中学校】25.9%</p>	

※小学生の数値は小学校6年生児童、中学生の数値は中学校3年生生徒(全国・学力学習状況調査実施学年)

※数値は令和7年3月末現在

第四次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

指針3: 市立図書館における子どもの読書活動の推進

令和8年1月作成

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	実績		重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	
ア 保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等や、学校図書館への団体貸出に配慮した児童書の収集を行います。	団体貸出に配慮して、学校の図書館担当者と図書館教育担当者会等で情報交換を積極的に行い、必要な児童書の収集を進めました。 児童書数: 64,181冊(昨年度比2,699冊減) 児童書の割合: 21.1%(昨年度比0.9%減) 児童書購入数: 1,185冊(昨年度比(30冊増))	・団体貸出に配慮して、学校の図書館担当者と図書館教育担当者会等で情報交換を積極的に行い、必要な児童書の収集を進めました。 児童書数: 65,514冊(昨年度比1,329冊増) 団体貸出数: 9,609冊(昨年度比2,202冊増)	・団体貸出に関して、学校の図書館担当者と図書館教育担当者会等で情報交換を積極的に行い、必要な児童書の収集を進めます。
イ 長く読み継がれて傷みが激しくなった児童書を更新します。	ブックキャラバン(現物選書)や寄贈本の受入等も含めて、内容が古くなったり、傷みが激しくなった児童書の更新を進めました。また、児童サービス担当司書等と連携し、計画的な更新を進めました。	・ブックキャラバン(現物選書)や寄贈本の受入等も含めて、内容が古くなったり、傷みが激しくなった児童書の更新を進めました。児童サービス担当司書等と連携し、計画的な更新を進めました。	・蔵書のバランスに配慮しながら、児童サービス担当司書等と連携し、計画的な更新を進めていきます。
ウ 図書館利用の困難な子どもに対して点字図書や録音図書の郵送サービスの提供の充実や、また、外国語を母語とする子どものための外国語の図書の充実を推進します。	点字図書や録音図書、外国語図書等の選定のため、引き続き情報収集を進め、多様な児童に対応できる資料収集を進めました。また、DAISY(音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書)の寄贈を受けました(CD5枚78作品)。おはなし大会で英語の絵本の読み聞かせを行いました。(参加者: 35名)	・点字図書や録音図書、外国語図書等の選定のため、引き続き情報収集を進め、多様な児童に対応できる資料収集を進めました。 春のおはなし大会で英語の絵本の読み聞かせを行いました。 ・上野点字図書館と連携して、録音図書の体験会を行いました。	・点字図書や録音図書、外国語図書等の選定のため引き続き情報収集を進め、多様な児童に対応できる資料収集を進めます。
エ 図書館資料として利用できる、電子書籍等の情報収集及び利用できる方を研究します。	図書館資料として利用できる電子書籍等の情報収集に努めました。(県内図書館の導入状況7市)	・図書館資料として利用できる電子書籍等の情報収集に努めています。(県内図書館の導入状況8市)	・引き続き、図書館資料として利用できる電子書籍等の情報収集に努めます。(県内及び近隣図書館の導入状況等)
進捗状況			
		・古くなった児童書の更新も行いつつ、適切に児童書の蔵書管理を進めています。	
課題			
	引き続き、ブックキャラバンや寄贈の受入も含めて、市立図書館の蔵書構成に留意しながら、児童書の充実を図る必要があります。	・近年の読書率の低下などから、電子図書をはじめとする新たな図書の在り方について、検討する必要があります。	

2 人的体制の整備

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した、児童サービス担当司書を継続して配置します。	<p>児童サービス担当司書を配置し、利用しやすい児童書コーナーのレイアウトを工夫する等、児童への図書館サービスの充実に努めました。</p> <p>児童サービス担当司書を中心に、人気シリーズ棚の設置や「お楽しみパック(子ども向け)」「(図書館司書選書による3~5冊の本の詰め合わせ)の貸出サービスを提供する等の取組を行いました。</p>	<p>・児童サービス担当司書を配置し、利用しやすい児童書コーナーのレイアウトを工夫する等、児童への図書館サービスの充実に努めました。</p> <p>・児童サービス担当司書を中心に、児童おすすめ本掲示板や江戸川乱歩生誕130周年記念クイズラリーの実施等の取組を行いました。</p>	<p>・児童サービスに関する専門的な知識を習得した児童サービス担当司書を継続して配置するとともに、児童への図書館サービスの充実に努めます</p>
イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を、教育センターと協働して実施します。	<p>子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行いました。(情報件数:2件)</p> <p>教育センターと連携して、図書館ボランティア研修講座『ステップアップ 私の読み聞かせ』(全3回)を実施しました。</p>	<p>・子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、おはなし会ボランティアへの情報提供を行いました。</p> <p>・教育センターと連携して、図書館ボランティア研修講座『広げよう読み聞かせの世界』(全2回)を実施しました。</p>	<p>・職員やボランティアの児童サービスへの技術力の向上につながるステップアップを図るための研修会を、図書館と教育センターが連携して実施するとともに、関係団体が主催する研修会等の情報提供を行う等、サービスの向上につながる取組を推進します。</p>
ウ 市立図書館のボランティアや、学校図書館ボランティアのほか、子どもの読書活動に関わるボランティアグループの体制づくりと連携を進めます。	<p>ボランティアに向けた、情報発信やボランティア会議等を通じた組織主体の事業推進を図りました。</p>	<p>・ボランティアに向けた情報発信やボランティア会議等を開催し、事業推進を図りました。</p>	<p>・ボランティアに向けた情報発信を行うとともに、ボランティアの体制の更新を行います。</p>
進捗状況			
/		<p>・児童サービス担当司書を中心に、児童サービス向上に努めるとともに、ボランティアを含めた研修を開催し、職員、ボランティアのスキルアップに努めています。</p>	
課題			
<p>引き続き、子どもと本のつなぎ手となる専門的な知識と技術を有する図書館司書の配置とともに、様々なボランティアの協力を得た多様な事業展開が必要です。</p>		<p>・ボランティアの高齢化が進んでおり、今後、ボランティアの担い手不足が進むことが予想されます。</p>	

3 地域における子どもの読書活動推進のための取組

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しの在り方を再検討して、子どもが興味を持ち参加したくなる催し物等を開催することで、子どもの読書活動を積極的・計画的に推進します。	<p>保育園(3園)、小学校(2校)の図書館訪問の受け入れを行いました。</p> <p>おはなし会等を実施しました。(46回、370名参加、昨年度比73人増)</p> <p>子ども読書の日や夏休み行事として、拡大版おはなし会を、開催しました。</p> <p>5月6日開催:89名参加(昨年度比19名増)</p> <p>7月29日開催:39名参加(昨年未開催)</p>	<p>・おはなし会等を実施しました。(46回、436名参加、昨年度比66人増)</p> <p>・子ども読書の日や夏休み行事として、拡大版おはなし会を、開催しました。夏のおはなし大会では、しおり作りも合わせて開催しました。</p> <p>5月4日開催:38名参加(昨年度比31名減)</p> <p>7月27日開催:39名参加(昨年比1名減)</p> <p>また、夏休みの催しとして、ボードゲーム大会や子ども映画会を開催しました。(ボーゲーム大会:9名参加、映画会:72名参加)</p> <p>・秋に、図書館まつりに合わせて、どんぐりや松ぼっくりを使った工作のワークショップを開催しました。(17名参加)</p>	<p>・催事に参加いただいた利用者やボランティアの意見を広く聴取し、子どもが参加したくなる企画を一層充実させるとともに、図書館訪問から読書活動へつなげる仕組み作りを検討していきます。</p> <p>・令和7年度は、引き続き、おはなし大会等の催しを行うとともに、やまなみ号のイベント出張や「こわい夜の図書館」の開催など、新たな催しに取り組みます。</p>
イ 児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。	<p>児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図りました。</p> <p>ブックスタート事業を実施し、事業の説明や子育て支援情報の提供、読み聞かせを行いました。(181名参加、昨年度比21人増)</p>	<p>・児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図りました。また、夏休み宿題応援コーナーなど、特集展示等を行いました。</p>	<p>・児童サービス担当司書が中心となり、いつでも児童書についての質問や読書相談に対応できるようサービス内容の充実を図ります。</p>
ウ 保育所(園)・認定こども園及び幼稚園等の、団体貸出利用を促進します。	<p>市保育施設への情報提供を積極的に行い、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等の団体貸出(2,002冊、昨年度比243冊増)及び保育所(園)への移動図書館の巡回を実施しました。(7施設)</p>	<p>・市保育施設への情報提供を積極的に行い、保育所(園)及び幼稚園・認定こども園等の団体貸出(2,850冊、昨年度比848冊増)及び保育所(園)への移動図書館の巡回を実施しました。(7施設)</p>	<p>・市保育施設への情報提供を積極的に行い、保育所(園)及び認定こども園・幼稚園等の団体貸出については、関係者との連携を密にして、ニーズに合った図書の団体貸出を行います。</p>
エ 県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を深め、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスを充実します。	<p>県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を深め、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスの充実を図りました。また、ヤングアダルト向けの本の特集展示を実施しました。</p> <p>視聴覚室を自習席として開放しました。</p>	<p>・ヤングアダルト向けの本の特集展示を実施しました。</p> <p>・視聴覚室を自習席として開放しました。</p>	<p>・県立高等学校図書館や高等専門学校図書館との連携を働きかけ、相互の図書館の効果的な活用を図ることにより、ヤングアダルトを対象にしたサービスを充実します。</p>

<p>オ 子育てを支援する様々な主体と協働して、親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりを進めます。</p>	<p>子育てを支援する組織等と協働し、ブックスタート事業や子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。(21テーマ、1,942冊) 授乳室を設置しました。また、県の補助金を活用して、1階和室を改修し、ブックスタートや赤ちゃんのためのおはなし会に安心して参加できるように、防護クッション等を設置しました。</p>	<p>・子育てを支援する組織等と協働し、ブックスタート事業や子ども向けに児童書の特集展示を実施しました。(特集展示:24テーマ、2,461冊) ・トイレの改修に合わせて、男子トイレにおむつ交換台を設置しました。</p>	<p>・ブックスタート事業を継続します。また、児童書の特集展示の充実を図ります。 ・グループ学習室を改修し、(仮)キッズルームを設置します。</p>
進捗状況			
		<p>・様々な催しや図書環境の整備を行い、図書へ興味を持ち、読書の幅が広がるような取り組みを進めています。</p>	
課題			
<p>子育てを支援する施設(こども支援センター・市保育施設等)や子どもの読書活動を推進する主体(学校図書担当者等)と協働し、子どもが読書するための環境づくりや催しの開催を、検討する必要があります。</p>		<p>・少子化や読書離れが進む中、子どもやヤングアダルト世代に本を手にとってもらう方法について、検討が必要です。</p>	

4 市立図書館による学校図書館支援

施策・方針	実績	実績	重点取組事業
	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降(案)
<p>ア 小中学校の司書教諭等や学校司書及び県立高等学校学校司書との連携を強化し、教職員の社会体験研修を積極的に受け入れる等、学校図書館支援を推進します。</p>	<p>図書館教育担当者や学校司書から、団体貸出に必要な資料を提案いただくとともに、情報収集を行い、必要な図書を収集する等、学校図書館の支援に努めました。また、小中学校へリサイクル本の提供を行いました。 教職員の社会体験研修を積極的に受け入れました。(5校、8名)</p>	<p>・図書館教育担当者や学校司書から、団体貸出に必要な資料を提案いただくとともに、情報収集を行い、必要な図書を収集する等、学校図書館の支援に努めました。また、小中学校へリサイクル本の提供を行いました。 ・教職員の社会体験研修を積極的に受け入れました。(2校、3名)</p>	<p>・図書館教育担当者や学校司書から、団体貸出に必要な資料を提案いただくとともに、情報収集を行い、必要な図書を収集する等、学校図書館の支援に努めます。</p>
<p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めることにより子どもの読書活動を推進します。</p>	<p>子どもの施設見学(保育園3園、小学校2校)や職場体験(中学校4校、9名、高校1校3名)を積極的に受け入れるとともに、子どもが図書館に一層興味を深めてもらえる展示や配架に努めました。</p>	<p>・子どもの施設見学(保育園3園、小学校2校)や職場体験(中学校5校、9名、高校1校3名)を積極的に受け入れるとともに、子どもが図書館に一層興味を深めてもらえる展示や配架に努めました。</p>	<p>・子どもの施設見学や職場体験を積極的に受け入れると共に、子どもが図書館に一層興味を深めてもらえる展示や配架に努めます。</p>

ウ 学校に向いての学校図書館支援を継続します。	学校に向いての学校図書館支援については、以前と同様の支援が困難なため、それ以外の方法について、検討を進め、可能な限り学校の要望を反映するよう努めました。 小学校への移動図書館の巡回を実施しました。(7校)	・学校に向いての学校図書館支援については、再開に向けて準備を進めました。 ・小学校への移動図書館の巡回を実施しました。(7校)	・学校に向いての学校図書館支援について、学校の要望を聞き取り、各校1回実施します。
エ 県立図書館が実施する可能な限りの児童書新刊全点収集を活用し、学校図書館支援を推進します。	小中学校の図書館教育担当者会を学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しました。	・団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しました。	・団体貸出の広報・利用拡充のための情報提供を推進しています。
進捗状況			
		・施設見学、職場体験を受け入れるとともに、団体貸出や移動図書館の巡回により、学校の読書活動や調べ学習の支援を行いました。また、令和7年度から小学校への学校訪問を再開します。	
課題			
	子どもの施設見学等の受入や団体貸出の利用促進等を通じて可能な限りの学校図書館支援を推し進める必要があります。	・学校図書館支援にあたり、より効果的な支援を行うため、学校との連携強化と情報共有を進める必要があります。	

【数値目標】

成果指標	目標値 (令和9年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童書貸出冊数 (図書館と移動図書館との合計)	150,000冊	130,934冊	121,598冊	

※数値は令和7年3月末現在